

Press Release

－お問い合わせ－

宇土市 まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当:東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電話:0964-27-6608/メール:machi05@city.uto.lg.jp



宇土ゆかりの台湾の英雄・湯徳章氏の絵本、日本語版が完成

～12月5日から市内小中学校へ一斉配布、市学芸員による授業も実施予定～

宇土市は、台湾・台南市の英雄として知られる湯徳章(坂井徳章)氏に関する絵本(台南市制作)の日本語版を2,000冊購入し、12月4日の納品後、12月5日から市内小中学校へ配布します。湯徳章氏の父親が宇土出身であることから、本市にゆかりの深い人物の功績を、次世代を担う子どもたちへ伝える教材として活用するものです。

■事業のポイント

- ・日本語版絵本 2,000冊を購入し、市内教育現場で活用

対象:市立中学校1年生(約300人×6年分)、市内小中学校図書室、市立図書館、市役所市民交流スペース

- ・市学芸員による特別授業を実施予定

12月9日(火) 14:30～15:20 網田中学校

10日(水) 13:40～14:30 住吉中学校

16日(火) 9:30～11:20 鶴城中学校(2回に分けて実施)

■背景:宇土市と台南市をつなぐ「正義と勇気」の物語

湯徳章弁護士は、1947年台湾の二・二八事件で多くの市民を救い、今も台南市で“英雄”と称される人物。その父が宇土出身であった縁から、宇土市と台南市は交流を進めてきました。令和7年3月13日、湯徳章氏の命日に合わせ、宇城地域(宇土市・宇城市・美里町)と台南市は友好交流協定を締結。宇土市としては初の国外との交流協定であり、台南市にとっても「地域」との協定締結は初めての取り組みです。

■日本語版絵本の制作経緯

令和5年度に元松市長が台南市長を表敬訪問した際、「湯徳章氏の功績を知ってもらうためにも、まずはこの絵本を日本の子どもたちにも読ませたい」と台南市長に伝え、日本語版を制作したものです。

■今後の展開

- ・学習教材として、子どもたちが地域の歴史・国際交流を学ぶきっかけに
- ・市学芸員による特別授業と連動し、理解を深める教育プログラムを展開
- ・台南市との国際交流・文化理解の促進につなげる